

の招待

色彩へ



浜口陽三《緑のさくらんぼ》1981-89年
7.7×5.7cm カラーメソチント、紙

休館日 月曜日 *会期は変更になる場合がございます。
開館時間 11時〜17時(土日祝10時〜17時/最終入館16時半)
入館料 大人六〇〇円/大学生・高校生四〇〇円/中学生以下無料

2022.5.14(sat) → 7.10(sun)
2022.5.14(sat) → 7.10(sun)

ミユゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

2022年初夏の常設展



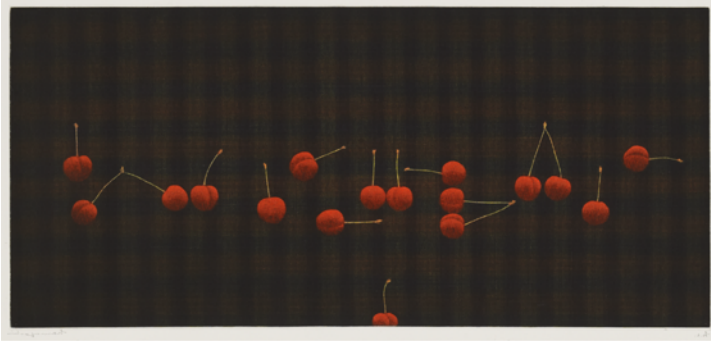
Musée
Hamaguchi
Yozos
Yamasa
Collection

色彩への招待

2022.5.14(sat) → 7.10(sun)

浜口陽三銅版画展

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
2022年初夏の常設展



浜口陽三《17のさくらんぼ》1968年
24.5×51.7cm カラーメゾチント、紙

浜口陽三（1909-2000）は、20世紀を代表する銅版画家の1人です。1950年代にフランスにて、「カラーメゾチント」という新しい銅版画の技法を編み出し、世界的に活躍しました。

浜口陽三の開拓した銅版画技法「カラーメゾチント」は、黄、赤、青、黒の4つの色から作られています。色ごとに版を彫り分け、4つの色版を紙に順に重ねて刷ることで作品が完成します。一見すると絵具で描いたように見えますが、画面全体が意図的に構成された色の重なりによって制作されています。版面に広がる点描のような凹みは、限りなく繊細です。その凹みによって、作品に無数の色と奥行きが生まれます。

本展では浜口陽三の銅版画を約50点展示します。複雑に重なり合って生まれた、豊かな色彩の世界をご堪能ください。



浜口陽三《1/4のレモン》1976年
15.5×15.3cm カラーメゾチント、紙

event. 2色刷り銅版画体験教室

（初心者向け）黒と赤色でつくる2色刷りメゾチント体験教室を行います。午前に黒版と赤版の製版を行い、午後から刷りを行う1日体験教室です。

※詳しくはHPをご覧ください。



image

講師_江本創（造形作家）
参加費_3,000円
日時_5月21日(土)、5月22日(日)
定員_各日10名
時間_10:00~17:00 (休憩1時間有)
申込_5月7日(土)12:00より
お電話(03-3665-0251)にて受付

museum goods

新たに《パリの屋根》1956年のA4クリアファイルや、ステッカーを揃えました。



浜口陽三《突堤（黒版なし）》1965年頃
28.3×28.6cm カラーメゾチント、紙

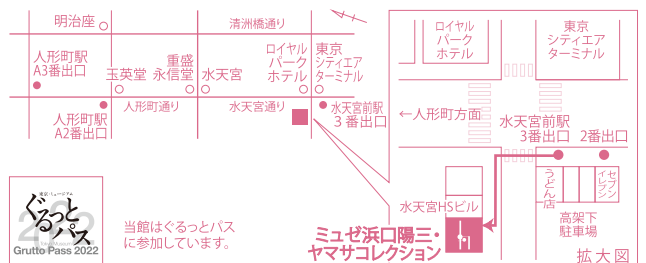
ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel_03-3665-0251 HP_https://www.yamasa.com/musee/

アクセス_東京メトロ 半蔵門線 [水天宮前] 3番出口そば
東京メトロ 日比谷線 [人形町] A2出口徒歩8分

web site



当館はぐるっとパスに参加しています。

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

拡大図